授業科目 基礎看護学方法論Ⅰ （安心・安全・苦痛緩和ケアの基本）	担当講師名 専任教員名	単位数 2	時間数 45	履修年次・前/後 1年次/ 前期
講義のねらい	1 健康生活の維持や疾病回復のために環境調整の方法を理解し実施できる。 2 バイタルサインの意味を理解し測定方法を修得する。 3 看護における観察・記録・報告の方法を理解する。 4 看護における教育・相談について理解する。 5 医療における看護安全の基本について理解する。 6 感染予防の意義について理解し、基本技術が修得できる。			
授業形態	講義・演習			担当及び時間
講義内容	1 環境 1）環境の意義 2）環境を整える デモンストレーション・演習：ベッドメーキング、リネン交換（臥床患者がいる場面） 2 バイタルサイン 1）バイタルサイン デモンストレーション・演習：体温・脈拍・呼吸・血圧・経皮酸素飽和度 3 観察・記録・報告 1）観察 2）記録・報告 4 教育・相談 1）看護における教育・相談 5 看護安全の基本 6 感染予防技術 1）感染予防の意義 2）感染防止の基本 3）創傷の保護 デモンストレーション・演習：手洗い、マスクの装着、手袋の装着、消毒の基礎、滅菌物の取り扱い、無菌操作、感染物の取り扱い、皮膚の消毒・保護・固定			10 15 2 4 14
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ （医学書院） 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ （医学書院）			
参考文献	1 看護技術講義・演習ノート 上巻 （サイオ出版） 1 看護技術講義・演習ノート 下巻 （サイオ出版） 1 医療安全ワークブック 第4版 （医学書院） 3 必要に応じて資料を配付する 4 DVD 実践 看護技術シリーズ 感染予防編 1）スタンダード・プリコーション 2）消毒・滅菌と無菌操作			
評価方法	終講試験 1・2・3・4 各 25 点 合計 100 点 終講試験 5・6 各 50 点 合計 100 点 基礎看護技術試験 2 100 点			
備考欄	・事前に演習を行う内容については、 DVD 等で確認しておく ・演習時の必要な準備については、演習前に示す ・演習項目については、授業終了後も練習をし、技術修得しておく（実習場における学生・患者相互の不安軽減に向けて努力しておく） ・教員とのコンタクトについては授業終了後又は終講時に案内する			